plasmodiocarpous and by having smaller spores. *Didymium* species, of course, can also be recognized by their crystalline lime, and *Trabrooksia* by its total lack of lime. From *B. ainoae* our specimen differs also in its minutely spinulose spores, in its smooth, crustose, limy peridium, which is yellow-brown and not colourless in transmitted light, and by the presence of true, even though it is scanty, capillitium. The definition of the genus *Badhamiopsis* should be widened to accomodate species with (some) capillitium and sporangiate fructifications.

We wish to express our deep appreciation to Mr. Hagiwara for giving us a chance to examine the interesting specimen.

* * * *

最近，筆者らは，国立科学博物館筑波実験植物園の萩原博光氏より，日本変形菌研究会の会員（氏名不詳）が採集した1標本を頂き，検討する機会を得た。この標本は *Badhamiopsis* と *Diderma* や *Didymium* との中間的形態をもち，大変興味深いものである。筆者らはこれを検討した結果，新種と判断し，*Badhamiopsis cavifera* と名付けて記載した。

□Cooke, W.B.: **The fungi of our mouldy earth** 467 pp. 1986. Beihefte Nova Hedwig. 85. J. Cramer, Berlin. 排水や汚水処理施設などの有機物汚染水域から得られた真菌類について，検索表を付し，種ごとに採集・分離のデータをまとめたものである。同じ著者の “Check list of fungi isolated from polluted water and sewage” (1957) と “Our mouldy earth, a study of the fungi of our environment with emphasis on water” (1970) を下敷きにしている。全菌群にわたり，属だけでも300を大きく上まわっており，思いがけない種の記録もある。菌類研究にとって菌株保存の重要性は言を待たないが，自然の中からいつでも目的の菌を入手できる能力を貯えておくことも極めて重要である。ところが罹病植物の病斑や大形子実体以外の採集では “めくら撃ち“ の面があり，それだけに従来の採集データはたいへん大切である。本書は単に応用的価値だけでなく，そういった意味でも有益な基礎資料集といえる。今後，このような立場でのいろいろな基礎資料の集成が強く望まれる。なお，本書の末尾には114の線画が添えられているが，原図を写真版として製版したらしく，スペースに無駄が多く，不鮮明なものも少なくない。著名な Cramer 社にしては妙な図版の作り方をしたものである。改善を望む。　　(三浦宏一郎)